

## 少数台数のリコール届出の公表について (令和2年10月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和2年10月は13件の届出がありましたので公表します。

## 1. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
10月1日	外 3101	車名：メルセデス・ベンツ 型式：5BA-205076C 他 通称名：C180 他	63	平成30年7月25日～ 令和2年4月15日
不具合の部位等	ターボチャージャのオイル配管取付けボルトにおいて、製造時の組付け管理が不適切なため、当該ボルトが規定トルクで締め付けられていないものがある。そのため、規定トルクで締め付けられていない場合は当該ボルトが緩み、オイル漏れが発生して、最悪の場合、漏れたオイルが排気管に付着することで火災に至るおそれがある。			

## 2. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
10月1日	外 3102	車名：メルセデス・ベンツ 型式：DBA-205340 他 通称名：C180 クーペ 他	18	平成29年4月24日～ 平成31年2月26日
不具合の部位等	座席ベルトの非装着時警報装置において、メーターパネルを修理で交換する際に配信される制御プログラムが不適切なため、前席のシートベルト非装着時に必要な警告が適切に作動せず、保安基準第22条の3（座席ベルト等の基準）に適合しない。			

3. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月1日	外 3103	車名：メルセデス・ベンツ 型式：4BA-177051M 通称名：メルセデスAMG A3 5 4MATIC	9	令和元年10月23日～ 令和元年11月2日
不具合の部位等	タイロッドのトーイン調整において、生産ラインにおける調整値の指示が不適切なため、正規と異なる値に調整されている。そのため、横滑り量が基準値を超えるおそれがある。			

4. 届出者：ヤンマーアグリ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月7日	外 3105	車名：ジョンディア 型式：- 通称名：JD-6130M 他	44	令和2年1月21日～ 令和2年5月18日
不具合の部位等	農耕トラクタのウォーターポンプのプーリーを取り付けているボルトにおいて、締付トルクが不足しているものがある。そのため、走行振動等によりボルトが緩みプーリーが傾くことで、異音が発生し、最悪の場合、ウォーターポンププーリーが脱落するおそれがある。			

5. 届出者：ヤンマーアグリ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月7日	外 3106	車名：ジョンディア 型式：- 通称名：JD-6195M 他	45	令和2年1月21日～ 令和2年4月2日
不具合の部位等	農耕トラクタのオイルポンプを駆動するアイドルギヤに使用しているワッシャにおいて、熱処理が不適切なため、ワッシャが早期に摩耗するものがある。そのため、ワッシャが摩耗することでブッシュにガタ等が生じ、そのままの状態を使用を続けると、ブッシュが損傷し、損傷した破片がオイルポンプに噛み込み、最悪の場合、エンジンが破損するおそれがある。			

6. 届出者：トライアンフモーターサイクルズジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月15日	外 3111	車名：トライアンフ 型式：2BL-CDJ900 通称名：タイガー900GTプロ 他	40	令和元年11月28日～ 令和2年2月26日
不具合の部位等	後部反射器において、製造公差が不適切なため、取り付け部の径が設定よりも小さくなっているものがある。そのため、走行振動等により後部反射器を固定するクリップが外れ、後部反射器が脱落するおそれがある。			

7. 届出者：Groupe PSA Japan株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
10月16日	外 3109	車名：プジョー 型式：ABA-T9HN02 他 通称名：308	52	平成30年2月28日～ 平成30年8月4日
不具合の部位等	ウォーターポンプベルトにおいて、組付工具の保守管理が不適切なため、工具が破損したまま当該ベルトが組付けられているものがある。そのため、組付け時に当該ベルトが損傷し、そのまま使用を続けるとベルトが破断して、最悪の場合、冷却不良となりエンジンオーバーヒートに至るおそれがある。			

8. 届出者：Groupe PSA Japan株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
10月16日	外 3110	車名：プジョー 型式：ABA-P845G01 通称名：3008	7	平成30年6月21日～ 平成30年7月13日
不具合の部位等	バッテリーケーブルにおいて、設計指示が不適切なため、端子が誤った材質で製造されているものがある。そのため、早期に劣化し抵抗値が大きくなり、端子部が発熱して、最悪の場合、車両火災に至るおそれがある。			

9. 届出者：日産自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作日
10月22日	4826	車名：ニッサン 型式：DAA-GC27 他 通称名：セレナ 他	17	令和2年5月15日
不具合の部位等	前照灯において、車両生産工場の光軸検査設備が正常に作動していない状態で検査、調整を行ったため、光軸が保安基準を満足していないおそれがある。			

10. 届出者：日産自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月22日	4827	車名：ニッサン 型式：5AA-HY51 他 通称名：フーガ 他	51	平成30年9月14日～ 令和2年4月29日
不具合の部位等	前照灯において、車両生産工場での光軸検査工程の後に、前照灯と車体（フェンダー）との隙間調整を行ったにもかかわらず、光軸の再検査を行わなかったものがある。そのため、前照灯の光軸が保安基準を満足していないおそれがある。			

11. 届出者：ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
10月23日	外 3113	車名：ジャガー 型式：CBA-J12LA 他 通称名：X J L u x .	6	平成22年3月18日～ 平成30年4月18日
不具合の部位等	レストレイントコントロールユニットにおいて、整備時のプログラムが不適切なため、修理等の際に診断機でプログラムするとエラーのまま完了することがある。そのため、エアバッグ展開制御のしきい値が設計値より高くなり、衝突時にエアバッグが展開せず、最悪の場合、乗員が過度の傷害を負うおそれがある。			

12. 届出者：三菱マヒンドラ農機株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月28日	4824	車名：三菱 型式：YDR-GK13B 通称名：G C R 1 3 8 0 他	81	平成30年5月14日～ 令和元年10月30日
不具合の部位等	農業用クローラトラクタの駐車・副変速機バルブにおいて、当該バルブのコイルの熱耐久性が不適切なため、連続作業運転を繰り返すと機械熱の影響を受け、当該コイルの吸引力が低下することがある。そのため、エンジン再始動時に駐車ブレーキが解除できなくなる又は、副変速機による切り替えができなくなるおそれがある。			

## 13. 届出者：G r o u p e P S A J a p a n株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月30日	外 3115	車 名：プジョー 型 式：3BA-P875G06 通称名：5008	99	平成31年4月29日～ 令和元年10月15日
不具合の部位等	冷却水リザーバータンクブリーザーホースにおいて、取付工程での配策が不適切なため、ラジエターホースに接触することがある。そのため、車両振動等によりラジエターホースが損傷し冷却水が漏れて、最悪の場合、エンジンオーバーヒートに至るおそれがある。			

【参考】

●令和2年10月のリコール届出件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	26 (-1)	23 (+3)	3 (-4)
輸入車	20 (+10)	10 (+3)	10 (+7)
計	46 (+9)	33 (+6)	13 (+3)

※ ( ) 内は、対前年同月比

●令和2年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	17(-13)	19(-4)	36(-17)	210,060 (-4,684,165)	116,294 (+39,060)	326,354 (-4,645,105)
5	11(±0)	11(-7)	22 (-7)	80,875 (-14,733)	13,927 (-16,491)	94,802 (-31,224)
6	16(-4)	11(-8)	27(-12)	1,991,824 (+583,181)	9,538 (-54,219)	2,001,362 (+528,962)
7	20(+5)	15(±0)	35(+5)	183,257 (+39,709)	70,798 (+46,117)	254,055 (+85,826)
8	11(-2)	18(+5)	29(+3)	144,094 (-77,674)	37,887 (-145,375)	181,981 (-223,049)
9	8 (-7)	12(-14)	20(-21)	553,638 (-148,391)	52,731 (-47,502)	606,369 (-195,893)
10	26 (-1)	20(+10)	46(+9)	805,055 (+431,272)	18,290 (-17,122)	823,345 (+414,150)
小計	109 (-22)	106 (-18)	215 (-40)	3,968,803 (-3,870,801)	319,465 (-195,532)	4,288,268 (-4,066,333)

※ ( ) 内は、対前年同月比